

楽しく走って健康づくり！ 観音滝ジョギング大会

第24回観音滝ジョギング大会が、2月1日観音滝公園周辺コースで開催されました。観音滝ジョギング大会は、「ジョギングを通して、世代間の交流を深めながら青少年の健全育成に務めるとともに、健康づくりと親睦を図る」ことを目的に開催されているもので、曇り空で時折日の射すジョギング日和となりました。

大会では、5キロ、3キロ、1キロの3つのコースに昨年より30名多い277名が、健脚を競いました。

毎年このジョギング大会に参加しているという国分市から来町された上村二郎さんは、5キロコースに参加した後、3キロコース、1キロコースにも参加。

上村さんは、「健康づくりのため1週間に4回程度、1回に20キロ走っています。練習にもちょうどよくてとても楽しい。是非町が合併してからも続けてほしいですね。」と話されていました。

また当日は、永野校区の女性団体「結・きらめき会」が大鍋で作ったさつま汁を振る舞い、参加者からもたいへん好評でした。

【各1位】 ※全体で男女別・敬称は省略

5キロコース 池之上博文（宮崎県） 富奥裕子（東市来町）

3キロコース 相川智哉（出水市） 山口 舞（隼人町）

1キロコース 奥 英樹（菱刈町） 迫田茉優（阿久根市）

※相川さんは中学生、山口さん・迫田さんは小学生です。

【敢闘賞】（最高齢者）

上井一光（搦・80歳）・ 馬場シズ子（祁答院町・66歳）

▶「結・きらめき会」のさつま汁に冷えた体も温まります



◀親子で走る参加者たち（1キロコース）

声援に支えられ 早春の薩摩路を 駆ける

第51回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会（県下一周駅伝）が、2月14日から5日間に渡って開催されました。

2月16日には、本町国道267号線沿いに求名を通過。

これまで国道に沿いに北上していましたが、今回より稲富神社下から旧道に入り、求名公民館で中継、上中福良に抜ける旧道を通るように変更されました。

益寄医院前の沿道には、求名小の児童が各チームを応援するメッセージを記入した12枚の板を用意。前を通過していく選手に小旗を振りながら「がんばれー、あと少し！」と声援をおくっていました。

本町出身選手では、井上雅貴君、井上貴博君（以上川薩チーム）段勇樹君（伊佐チーム）の3名が出場。

井上雅貴君は2日目第1区（加世田く吹上）、3日目第5区（宮之城く求名）、最終日

第1区（根占く大根占町皆倉）の走った3区間すべてで区間賞を獲得し、川薩チーム躍進の原動力となりました。

井上貴博君は4日目、最終日の2回、段勇樹君は初日、3日目、最終日と3回走りそれぞれチームに貢献しました。また川薩チームは32時間31分51秒で、1位始良チーム、2位曾於チームに続き昨年と同じ総合3位でした。

▶求名を走る井上雅貴選手に声援をおくる皆さん

